

10:32 私たちは、自分たちの神の宮での礼拝のために、毎年シェケルの三分の一を献げる義務を自らに課す。

10:33 これは、並べ供えるパンと常供の穀物のささげ物のため、常供の全焼のささげ物のため、安息日、新月の祭り、例祭、聖なるささげ物のため、そしてイスラエルの宥めを行う罪のきよめのささげ物のため、および私たちの神の宮のすべての用途のためである。

10:34 また私たち、祭司とレビ人と民は、薪のささげ物について、毎年定められた時に、父祖の家ごとに神の家に携えて来ることを、くじによって決める。律法に記されているとおり、私たちの神、【主】の祭壇の上で燃やすためである。

10:35 また、私たちの土地の初なりと、あらゆる木の初なりの果実をすべて、毎年、【主】の宮に携えて来ることに決める。

10:36 また、律法に記されているとおり、私たちの子どもと家畜の初子、私たちの牛や羊の初子を、私たちの神の宮に、私たちの神の宮で仕えている祭司たちのところに携えて来ることに決める。

10:37 また、私たちの初物の麦粉と奉納物、およびあらゆる木の果実、新しいぶどう酒と油を祭司たちのところに、私たちの神の宮の部屋に携えて来る。また、私たちの土地の十分の一はレビ人たちのものとする。レビ人は、私たちの耕作するすべての町から十分の一を受け取る者たちである。

10:38 レビ人が十分の一を集めるとき、アロンの子孫である祭司が、そのレビ人とともにいなければならない。レビ人は、その十分の

一の十分の一を私たちの神の宮へ携え上り、宝物倉の部屋に納めなければならない。

10:39 この部屋に、イスラエルの子らとレビ人たちは、穀物、新しいぶどう酒、油の奉納物を携えて来るようになってきているからである。そこには聖所の用具があり、また、当番の祭司や門衛や歌い手たちもいる。このようにして私たちは、自分たちの神の宮をなおざりにはしない。」

ささげものについて、彼らは約束しました。それは神をあがめるために使われるもので、神様が命じたものです。心に信仰があれば、別に目に見えるものは無くてもよいということではありません。

見えない信仰が見えるように表すことが必用なのです。神様は私たち人間には見ることのできないお方であり、知ることのできない至高なお方ですが、ご自身を表してくださいました。被造物によって、そしてイエス様によってです。

私たちにはその神様を礼拝し、そして人々に伝えるように命じられています。そのために神様は私たちに見える恵みを与えてくださっているのです。

主から与えられたもの、賜物、能力や才能、財、時間などによって主を讃え、人々に伝えましょう。そのために主の働きを支えて献げものをしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

